広報
たまかわ
2018 1
No.617
http://www.vill.tamakawa.fukushima.jp

謹賀新年

ふくしまの“空の玄関口“として四半世紀
～空港を明るく照らす朝日～

平成30年３月に開港25周年を迎える福島空港

ごあいさつ

玉川村長
石森春男

進取の気性と協働による活力ある元気な村づくり

新年あけましておめでとうございます。平成30年の新春を穏やかにお迎えになったことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より村政進展のため、行政各般にわたり、温かいご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、農業を基幹産業とする本村にとっては、夏からの低温や長雨、台風の通過など天候不順に悩まされた一年でありましたが、7月には、全国8市町村からさるなし産地の方々をお招きし「第1回さるなし・こくわサミット」を開催しました。また、旧川辺小学校が石川支援学校たまかわ校として生まれ変わり、地域に子どもたちの元気な声が戻ってくるなど、明るい話題も多くありました。

さて、今日の少子高齢化・人口減少は、本村でも大きな課題となっておりますが、第6次玉川村振興計画に掲げる「村民と、共に歩み育む、心豊かな村づくり」を基本理念に、『未来が輝く村づくり〝元気な〟たまかわ』を目指して、「皆で支えあう福祉の村づくり」「環境にやさしい安全・便利な村づくり」「活力のある村づくり」「人を育む村づくり」「交流と協働の村づくり」の5つの基本目標のもと、主要施策に取り組んでおります。

特に、重点プロジェクトとして人口減少対策を掲げ、「玉川村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、仕事と雇用を創出し、農業・商業・工業の調和のとれた振興を推進する「元気な産業応援プロジェクト」、民間開発による住宅団地等の支援により、村に人を呼び込む「選ばれる村づくりプロジェクト」、環境整備や子育て世代の負担を軽減する「子育て世代応援プロジェクト」、皆様との協働により新たな地域づくりを推進する「元気な地域づくりプロジェクト」の4つの施策を推進しております。

今年は、上水道給水区域の拡大や、集落排水の整備を進めるほか、中学校統合について方針を定めるなど、より良い教育環境の整備に取り組みます。

更に、台湾鹿谷郷との姉妹都市提携から30年と節目の年を迎えますので、より一層の交流の輪を広げていきたいと考えております。

道の駅たまかわの拡張整備も進めており、多くの方々にご来場いただける、より利便性の高い施設となりますので、本村の農業振興に大きく貢献できるものと考えております。

また、今年は、ふくしまの「空の玄関口」である福島空港も開港から25周年を迎え、より一層の利用客の増加や就航拡大に期待したいと思います。

以上、事業計画の一端を申し上げましたが、本年も地方創生事業を中心に、移住定住対策、少子化対策、産業振興並びに村民福祉向上のため進取の気性をもって、これらの事業を効果的に連携させ、限られた財源を重点事業に振り分け取り組んでまいります。引き続き住民と行政の「協働」の仕組みを育てながら、住民が主役の地域づくり、『未来が輝く〝元気な〟たまかわ』を目指してまいりますので、なお一層のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆さまにとって今年1年が輝かしい躍進の年となり、また、ご健康・ご多幸でありますよう心からお祈り申し上げまして、新年の挨拶といたします。

新年の

玉川村議会議長
須藤利夫

人口減少時代の問題克服のため さらに地方創生を推し進める

新年あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、私ども議会への温かいご指導とご支援を賜り衷心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、国政では10月に第48回衆議院議員総選挙が執行され、自民党公明党の連立与党は絶対安定多数を確保しました。11月に発足した第4次安倍内閣は、「生産性革命」と「人づくり革命」を車の両輪として、少子高齢化という最大の壁に立ち向かうとの決意を示されました。

本村においても、少子高齢化、人口減少問題は喫緊の課題であり、「玉川村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、その戦略に沿った各種施策が展開されております。今後は、総合戦略を踏まえ斬新な発想で事業構築を図るなど、今まで以上の創意と工夫が求められます。これらの問題は一朝一夕に解決できるものではありませんが、今後も村執行機関と共にさらに地方創生を推し進めていかなければならないと考えております。

東日本大震災からまもなく7年を迎えますが、未だに多くの住民が避難生活を余儀なくされており、さらに農産物については依然として根強い風評被害が続いております。幸いにも復興大臣は福島県選出議員でありますので、今後の復興に向けた確実で力強い施策の展開を期待するとともに、議会としましても、復興の波を止めないよう、今後とも国が責任をもって万全な対策を実施するよう強く要望してまいりたいと考えております。

我々議会は、地方分権改革推進により地方公共団体自らの判断と責任において、行政を運営しなければならない中、自治体の監視機関として議会の役割が益々重要となり、その責任も大きくなっております。

議会運営につきましては、我々議員自ら議会の活性化に取り組み、これまで以上の機能強化を図りながら、村民との連携を一層密にし、村政発展のためにさらに努力してまいる所存であります。

一日も早い原発事故の終息と震災からの復興を願い、さらに飛躍する一年にしたいと思います。

結びに、村民皆様方のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年あけましておめでとうございます

◆村
村長　石森　春男
副村長　工藤　宇裕
教育長　鈴木　文雄
外　職員一同

◆村議会
議長　須藤　利夫
副議長　大和田　宏
外　議員一同

◆区長会
会長　有賀　徳夫
副会長　野崎　次男
外　区長一同

玉川村から2名の最優秀賞

「家庭の日」作品コンクール・作文の部

福島県青少年育成県民会議主催の平成29年度「家庭の日」作品コンクール・作文の部で、最高賞の最優秀賞受賞4名のうち、玉川村から片寄太晴くん（須釜小4年）と小針綾斗くん（泉中2年）の2名が選ばれました。

11月20日、県文化センター（福島市）で行われた、第40回福島県青少年健全育成推進大会の席上で表彰式が行われました。

作文の部

最優秀作品

「うな重ファミリー」

須釜小学校四年　片寄太晴

パタパタと、お父さんのあおぐうちわからとってもいい匂いがただよってきます。僕の家は、ひいおじいちゃんの代から続く魚屋で今日は土用の丑の日なのです。

おじいちゃんがうなぎを仕込み、お父さんが炭火でうなぎを焼き、おばあちゃんがほかほかの白いご飯にうなぎを乗せ、お母さんが妹をおんぶしてレジ打ちをし、僕がお客さんにうな重を渡します。家族皆で作ったうな重を買ってもらえるのがうれしくて、「ありがとうございます。」「ありがとうございました。」と僕は、感しゃを込めてお客さん一人一人に言いました。

今年、家族にとって悲しい出来事がありました。ひいおじいちゃんが亡くなったのです。若いころひいおじいちゃんはうなぎのたれ作りの名人でした。毎日夕方たれの仕込みをするのですがあまくてとてもおいしかったのです。年をとってにんちしょうになったひいおじいちゃんは、自分でできないことがたくさんあったので、家族皆で何年もお世話をしていました。それだけに、ひいおじいちゃんが亡くなったことで、家族皆の心に大きな穴があきました。僕もひいおじいちゃんが亡くなった事がなかなか信じられないという気持ちでした。

そんな気持ちのまま、おそう式が終わり、丑の日が近づいてきました。そしておじいちゃんやお父さんが忙しそうに店の準備をしているのを見て僕は、どうしてひいおじいちゃんが亡くなったのに皆仕事ばかりしているんだろうと思って悲しい気持ちになりました。

その日の夜、僕は、おじいちゃんに聞いてみました。

「ひいおじいちゃんが亡くなってさびしくて悲しい気持ちなのに何で仕事ばっかりしているの？」

するとおじいちゃんは言いました。

「ひいおじいちゃんが大事にがんばって作った魚屋だから皆で仕事をがんばって魚屋を守る事が、ひいおじいちゃんの一番のくようなんだよ。」

と、その言葉を聞いて僕は、悲しんでばかりいないでひいおじいちゃんのくようのために魚屋のお手伝いをがんばろうと決めました。

うな重は、うなぎと、タレと、さんしょうとご飯と、炭の具合、この全部がひとつになって初めて美味しいうな重になります。そんなうな重のように家族全員の気持ちをひとつにして皆で一日中うな重を作り続けました。そのうな重を買ってくれたお客さん達の笑顔を見て、ひいおじいちゃんのくようができたかなあと思いました。

今年の丑の日は、家族皆でひいおじいちゃんの味を守ったと同時に、ひいおじいちゃんが家族のきずなを守ってくれたように感じた一日でした。

平成29年度「家庭の日」作文県大会入賞者

最優秀賞		
片寄太晴	須釜小	4年
小針綾斗	泉中	2年
優秀賞		
田子諒太朗	泉中	3年
優良賞		
有賀りりあ	須釜小	1年
吉村織花	須釜小	2年
相樂和香	須釜小	3年
小原れいな	須釜小	5年
矢吹悠人	須釜小	6年
西川継子	泉中	1年
倉鎌大晟	泉中	1年
我妻来飛	須釜中	2年

作文の部
最優秀作品

「家族と農業の関わり」

泉中学校二年
小針綾斗

「仕事手伝って。」

この言葉は、僕が暇そうにしているときによく両親から言われる。言われれば手伝うが、正直、面倒くさいと思ってしまうこともある。

僕の家はトマト農家だ。家族は六人。祖父、祖母、父、母、僕、弟で日々を過ごしている。

僕の家は「しぼりトマト」という品種の栽培を行っている。冬はそうでもないが、春になると急に忙しくなる。トマトの苗を植える範囲は広いし、実がなったらハウスの中で機械を使って温度管理という手間のかかる作業を行っている。そうなると、もちろん家族もそちらに手が掛かり、忙しくなる。

農業は仕事をする時間が不規則で、定時というものはない。午後四時くらいに早めに作業が終わることもあれば、夜の十一時くらいまで作業がかかることもある。もちろん僕の家も同じだ。

僕は家の仕事に対して苛立ちを覚え始めていた。農作業が忙しく、週末や長期休業では、一度も家族で出かけることがなかった。それで、思い切って母に、

「今度の休みの日、出かけられないの？」

と聞いてみた。すると母は、

「仕事が忙しいから。」

と言ってきた。この返答を聞いて、僕は落胆した。もう三～四か月くらいどこにも出かけていない。仕事が忙しいのは分かるが、休みの日なら空いている時間が少しくらいはあるだろうと思っていた。周りの友だちは週末になると須賀川や郡山方面に出かけているようだが、僕と弟はいつも家でテレビを見て過ごしている。クラスの友だちが、どこかに出かけたという話をしているのを聞くと、正直羨ましいとも思う。なぜ僕の家は農業をやっているのか、何で休日がはっきりしている会社勤めではないんだろう、そんな疑問が日に日に募っていった。朝五時に起きて、夜も遅くまで作業をしている多忙な家族を見ながら、月に一日や二日の休みがあればいいのに、といつも思っていた。

ある日、僕はふと思ったことを聞いてみた。

「うちのトマト、どのくらい儲かるの？」

我が家の生計がトマトだということは分かっていても、実際どれくらい稼いでいるのかは全然知らなかった。だから聞いてみたかったのだ。すると父は、

「家族が十分に生きていけるくらい。」

と答えた。僕はそれを聞いても、どのくらい稼いでいるのか具体的には理解ができなかった。百万円くらいかな、一千万円くらいかな。そんなことばかり考えていた。僕の農業に対する疑問は一層深まっていった。

また別の日、僕は父と進路のことについて話し合った。父からは、

「高校はどこに行きたいんだ？」

「大学には行くのか？」

そういう質問ばかりだった。僕はまだ何も決めていなかったので、適当に返事をしていたら、父は、

「おまえや家族が生きていけるくらいの金もあるし、大学に行かせる金もある。すべておまえが決めていいぞ。」

と言ってくれた。

僕は言葉に詰まった。僕たち子どものためにお金を無駄遣いせず、好きなものも買わないでいた親の想いを、そのとき初めて感じたからだ。家が農家であることに苛立ちを覚え始めていたが、このとき初めて両親を尊敬した。言葉が出なかった僕は、いろいろ考えた末、

「精一杯がんばります。」

と一言、伝えた。ここで進路の話は終わった。

僕は両親が必死に農作業をしている姿をずっと見てきた。個人的には、休みが定期的に取れる仕事や、デスクワークの仕事よりも体力的につらいと思う。

しかしその分、農業のいいなと思う面もある。それはたくさんの人の笑顔が見られることだ。家で作ったトマトは、こぶしの里にも出荷している。時々、農作業の手伝いに行くと、嬉しそうに家のトマトを持っていく人も見かける。家に直接買いに来てくれる人もいる。買いに来てくれた人は、みんな嬉しそうにトマトを持って帰ってくれる。

僕は、両親が作ったトマトを誇りに思う。

たくさんの人に、おいしいと言ってもらえるトマトを作っている両親もすごいと思う。両親とお客さんの関わりから、お金だけではない仕事の価値が感じられたような気がした。

これからも両親の仕事を近くで見て、手伝いながら、自分の家で作っているものや、両親の仕事に対しての理解を少しずつ深めて生活していきたいと思う。農業に真剣に向き合う両親に負けないよう、これから僕自身も、

「精一杯がんばります。」

笑って元気に健康長寿

保健医療交流事業

11月22日、福島県立医科大学医学部免疫学講座の大平哲也主任教授を迎え、健康講演会「笑いと健康～笑って出そう！長生きホルモン！～」が、村保健センターで開催されました。

講演では、笑いと認知機能との関連や、笑いによって効用が得られるメカニズムなどが紹介されたました。

また、笑いの体操とヨガの呼吸法を組み合わせた「笑いヨガ」が行われ、笑いと笑顔あふれる講演会となりました。

笑いヨガを体験する参加者

久しぶりの再会を喜ぶ

東玉会交流事業

11月26日、東京玉川会（森清春会長）の交流事業「落語観賞会」が浅草で開催され、13名の会員が参加しました。

浅草演芸ホールで落語・漫才・などを鑑賞後、懇親会を開催し、6月の総会以来の再会を喜び合いました。遠くは足利市からの参加者もおられ、各人の近況報告を行い和やかな楽しい時間を過ごしました。

来年の30周年記念総会での再会を約束して散会しました。

互いの元気な姿を喜ぶ参加者

地域のシンボルを美しく

南須釜老人クラブ奉仕作業

南須釜老人クラブ（塩澤直一会長）では、奉仕活動の一環として、毎月24日に都々古別神社や大寺城跡の草刈りなどの清掃活動を実施しています。

会員らは、春には桜が咲き誇り、秋には紅葉で美しく色づく大寺城跡からは、福島空港を一望することもでき、多くの方に来ていただきたいと活動を続けており、今回は、台風の影響による枯れ木や落ち葉の清掃が行われました。

清掃活動に参加された皆さん

上手に出来るよ！

たまかわクックの森生活発表会

12月2日、認定こども園たまかわクックの森で「生活発表会」が行われました。

園児たちは、お父さんお母さん、地域の方々が見守るなか、これまで練習をしてきた歌やダンスなどを元気いっぱい発表しました。

生活発表会の様子

地域は子どもたちの応援団

文部科学大臣表彰受賞

平成29年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰が、12月7日、文部科学省（東京都）で行われ「玉川村学校支援地域本部」が受賞しました。

学校支援地域本部は、学校が必要とする活動について、地域の方々をボランティアとして派遣する組織です。今回の表彰は、ボランティアの方々の活発な活動が評価されたもので、現在は56名が登録しています。

翌8日には、コーディネーターの我妻亜希子さん（川辺）らが村長に受賞の報告を行いました。

受賞を報告する我妻さん（中央）と面川さん（右）

地方自治の振興発展に貢献

監査事務功労者総務大臣表彰

玉川村代表監査委員の圓谷信幸さん（川辺）が、監査事務功労者として総務大臣表彰を受賞されました。

12月7日、村役場で表彰状伝達式が行われ、村長から圓谷さんに表彰状が手渡されました。

多年にわたり村監査委員として職務に精励され、地方自治の振興発展に貢献された功績により表彰されたものです。

圓谷さんは平成19年から現在まで3期10年間、代表監査委員を現在も務められております。

表彰を受けた圓谷さん（右）

みんなでクリスマス飾り

福島空港公園事業

12月7日、県都市公園・緑化協会主催による「クリスマスツリーを飾ろう」が空港公園エアフロントエリア管理棟で行われました。

認定こども園たまかわクックの森の園児26名が参加し、一人ひとりがキラキラのモールなどでリースを作り、ツリーに飾り付けました。

園児たちは、出来上がったクリスマスツリーを眺めながら、クリスマスのうたを歌ったり、サンタさんからのプレゼントに、ひとあし早いクリスマス気分を楽しみました。

ツリーに飾りをつける園児たち

交通事故の防止を呼び掛ける

交通安全街頭啓発活動

年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動期間中の12月10日、村交通対策協議会や村交通安全協会などによる街頭啓発活動が村内の商業施設で行われました。

石川警察署員をはじめ16名が参加し、買い物客らにチラシなどを配り「高齢者の事故防止」や「シートベルト着用推進」などを呼びかけました。

交通ルールの遵守と正しい交通マナーを実践し、交通事故の無い村を目指しましょう。

交通安全を呼びかける参加者

優良運転者などを称える

石川地方交通安全表彰大会

11月14日「石川地区交通安全表彰大会」が、八幡屋（石川町）で開催されました。

大会では、全員で交通事故犠牲者に対する黙祷を捧げたあと、長年にわたる交通安全活動に多大な功績のあった安全運転管理者や無事故・無違反で他の運転者の模範となる運転者への表彰が行われました。

本村関係の受賞者は次のとおりです。【敬称略】

表彰状を受け取る草野正博さん

◎東北管区警察局長・東北交通安全協会長連名表彰交通栄誉賞

◆優良運転者

草野 正博（南須釜）

◎福島県警察本部長・福島県交通安全協会長連名表彰

◆交通安全功労者

近内 源吉（南須釜）

◎石川警察署長・石川地区交通安全協会長連名表彰

◆優良運転者

小針 利枝子（北須釜）

須藤 喜久夫（川辺）

藤田 紀子（川辺）

柳沼 竜男（竜崎）

◎石川警察署長・石川地区安全運転管理者協会長連名表彰

◆平成29年交通事故防止コンクール成績優秀

東京精工株式会社

◎石川警察署長・石川地区交通安全協会長・石川地区安全運転管理者協会長・安全運転管理石川事業主会長連名表彰

●交通安全立看板コンクール

◆努力賞

玉川第一小学校

須釜小学校

◆最優秀賞

須釜中学校

◆努力賞

泉中学校

知っとこ 介護

2025年問題

あと7年

～分かりやすく介護保険を解説～

日本は、諸外国に例を見ないスピードで高齢化が進んでいます。玉川村においても、同様です。このような状況の中、団塊の世代が75歳以上となる2025年以降は、医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれます。

このため、国では2025年を目途に高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のため、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。

玉川村では、その取り組みの１つとして、**「もちもたの会」**を立ち上げました。

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加に伴い、介護保険等の公的なサービスでは行き届かない部分について生活支援の充実を目指しています。

玉川村の今後の高齢者見込

	2017年	2025年
総　人　口	6,875人	5,914人
65歳以上の人口	1,962人	2,160人
高　齢　化　率	28.5%	36.5%

「もちもたの会」では、ちょっとした困りごとは「もちつもたれつ」支え合って、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような仕組みができるよう話し合いをしています。

◆もちもたの会に興味のある方は、保健センターへご連絡ください。

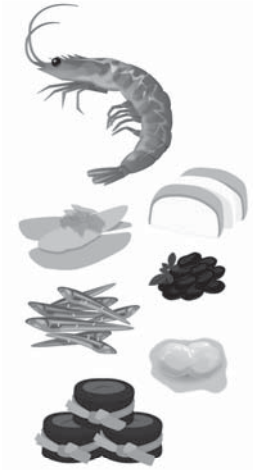
【介護等に関する相談は・・】 村保健センター　☎37-1024
地域包括支援センター（ふれあいセンター内）　☎57-4620

健幸だより

新年は今年一年の健康を願って

～おせち料理の意味～

おせち料理に入っている食材にはそれぞれに意味があるのをご存じですか？
お正月にはその年一年の幸せと健康を願って家族みんなでおせち料理を食べます。



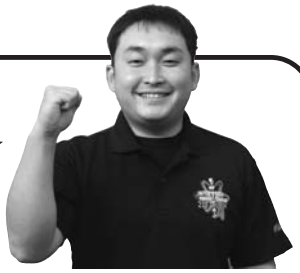
〔紅白かまぼこ〕紅白は祝いの色。紅はめでたさと慶びを、白は神聖を表します。
〔栗きんとん〕黄金色に輝く財宝をたとえて、豊かな一年を願う料理。栗は山の幸の代表格で、“勝ち栗”と言って、縁起がよいとして尊ばれてきました。
〔黒　　豆〕“まめ”は丈夫、健康を意味する言葉です。「まめに働く」などの語呂合わせからも、おせち料理には欠かせない料理です。
〔昆　布　巻〕昆布で健康長寿。昆布は“喜ぶ”の言葉にかけて、正月の鏡飾りにも用いられている縁起物です。
〔田　作　り〕片口いわしの小魚を使って作られます。五穀豊穣を願い、小魚を田畑の肥料としてまいたことから“田作り”と名付けられました。
〔数　の　子〕子宝と子孫繁栄を祈ります。数の子はニシンの卵です。
〔え　　び〕長生きの象徴。えびは長いひげをはやし、腰が曲がるまで長生きすることを願って使われます。

他にもおせち料理に使われる食材はたくさんあります。意味を知って願いがこめられたおせち料理を味わいましょう。

▶健康に関する問い合わせ先　村保健センター　☎３７-１０２４

Pep Up Tamakawa!
～たまかわを元気に～

地域おこし協力隊健康づくり支援隊員の大羅将が、運動教室や各地区の運動サロンなどの健康情報をお伝えします。



新たに運動指導の資格を取得しました！

①レクリエーション・インストラクター：ゲームや歌、手遊び、集団遊びといったアクティビティを効果的に活用し、「コミュニケーションを促進する」「楽しい空間を作る」など、対象に合わせてプログラムを企画・展開することができる資格です。
②スポーツ・レクリエーション指導者：普段運動に親しんでない人たち（子どもから高齢者）に対して、新しい運動＝「NEWスポーツ」などを通じて、イベントや教室の参加促進を担うように指導する資格です。
※運動指導や講演してもらいたい！という方は、お問い合わせください。

● 高齢者運動サロン情報

12月から吉地区で健康運動サロンが始まりました。運動指導の先生が毎週２時間程度、座位運動・立位運動を参加者に合わせて、プログラムを作成して運動を行っています。

とても賑やかで楽しく体を動かす事のできる教室になっています。参加してみたい！という方は村保健センターまでお問い合わせください。

■吉地区健康運動教室　場所：吉集会所　日時：毎週水曜日 9:30 ～ 11:30

▶**在職先**：村保健センター　☎37-1024　取材：地域おこし協力隊　大羅

乳がん集団検診のお知らせ

乳がんは、女性にできるがんの中で一番多く、年間約７万人が乳がんになり、約１万３千人が乳がんのために亡くなっています。しかし、早期発見、早期治療を行えば、より高い確率で治すことができます。ご自身のため、大切な人のためにも、ぜひ受診しましょう。

検診は完全予約制です。必ず電話予約をお願いします　☎37-1024

●対　象　者　**①満 30 ～ 39 歳の女性**（年度内 30 歳到達者を含む）
②満 40 歳以上の女性で偶数年齢の方（年度内 40 歳到達者を含む）
※昨年度未受診者は奇数年齢でも受診することができます。

●検 査 内 容　**①30 ～ 39 歳**：視触診、超音波検査
②40 ～ 49 歳：マンモグラフィ検査２方向
③50 歳 以 上：マンモグラフィ検査１方向

●個人負担金　**500円**

●検査日程等

検診日	受付時間	対象者	定員	検診会場
1月16日(火)	9時～9時30分	50歳以上	40人	須釜公民館
	13時～13時30分	50歳以上	30人	村保健センター
1月18日(木)	9時～9時30分	30～39歳	15人	
		50歳以上	40人	
	13時～13時30分	30～39歳	10人	
		40～49歳	15人	
1月21日(日)	9時～9時30分	50歳以上	40人	
	13時～13時30分	40～49歳	15人	
1月25日(木)	9時～9時30分	30～39歳	15人	
		50歳以上	40人	
	13時～13時30分	30～39歳	10人	
		40～49歳	15人	

※検診意向調査で受診を希望された方も必ず電話予約が必要です。
※経過観察中の方や授乳中の方などは集団検診を受診できません。
※集団検診の日程で都合がつかない方は施設検診も行っておりますので、保健センターへご相談ください。

▶問い合わせ先　村保健センター　☎37-1024

ぼくも！わたしも！ 虫歯がないよ！

3歳児健診が12月8日、村保健センターで行われました。
健診項目の歯科検診の結果、虫歯が1本もなかった3名のおともだちを紹介します。
（順不同。【　】は保護者と地区名）

増子千颯（ちはや）くん
【広行：南須釜】

矢内漣（れん）くん
【理之：中】

首藤凪咲（なぎさ）ちゃん
【雅仁：中】

お知らせ

Information

○総務課
57−4621
○住民課
57−4624
○須釜支所
57−2061
○税務課
57−4622
○会計室
57−4625
○健康福祉課
57−4623
○保健センター
37−1024
○産業振興課
57−4627
57−4629
○農業委員会
57−4628
○地域整備課
57−4626
57−4631
○議会事務局
57−4630
○教育委員会
57−4633
○公民館
（文化体育館）
57−4632

県都市・公園緑化協会主催「クリスマスツリーを飾ろう」より（12月7日）

須賀川税務署の確定申告に関するお知らせ

須賀川税務署では、次の日程で所得税及び復興特別所得税、贈与税、個人事業者の消費税の確定申告作成会場を設置します。

▼期間
2月16日(金)～3月15日(木)
※土・日曜、祝日を除く

▼開設時間
午前9時～午後4時

▼会場
須賀川市産業会館
（この期間は、税務署内に確定申告作成会場を設置しておりません。）

▼必要書類など
確定申告書の提出に当たっては、マイナンバーの記載と本人確認書類（マイナンバーカードまたは通知カードと免許証等）の提示又は写しの添付が必要です。

▼お願い
会場は大変混雑しますので、国税庁のホームページ「確定申告書等作成コーナー」が便利です。作成した申告書は電子申告（e-Tax）でそのまま送信するか、印刷して郵送による提出も可能です。
詳しくは、国税庁のホームページまたは須賀川税務署にご問い合わせください。

▼問い合わせ先
須賀川税務署
☎0248-75-2194

家計とお金の悩みに関する無料相談会

財務省福島財務事務所では、専門相談員が家計や借金の状況等をお伺いし、家計の見直しに関するアドバイスや、必要に応じて弁護士などの専門家に引継ぎを行う相談会を開催いたします。返しきれない借金でお悩みの方、生活資金不足により返済困難な方など、どなたでもご利用いただけます。
秘密は厳守します。一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

▼開催日時
1月16(火)午後1時～午後4時
原則予約制となっておりますが、受付状況により当日受付が可能な場合もあります。

▼会場
須賀川市役所ウルトラ会議室
（須賀川市八幡町135番地）

▼その他
電話相談は随時受付しています。相談会へお越しいただけない方は、お気軽にお電話ください。

▼予約・電話相談
財務省福島財務事務所
☎024-533-0064
（平日の午前8時30分～午後4時30分）

学校等統合準備委員会設立

「玉川村立小中学校の在り方検討委員会」の答申を受けて、中学校の統合に向けて準備を整えていくため「学校等統合準備委員会」11月27日に設立されました。
委員会は、学識経験者、保護者代表者、地域代表者、議会及び学校代表者の15名で構成され、委員長には、圓谷久さん（南須釜）、副委員長に、西島里美さん（竜崎）が選出されました。
今後は、統合を円滑に行うための事項について調整・検討を行うとともに、村民、保護者に説明会を開催します。
説明会の日程等については、別途お知らせいたします。

▼問い合わせ先
村教育委員会
☎57-4633

認定こども園たまかわクックの森「生活発表会」より（12月2日）

平成30年度村県民税（平成29年分所得税）の申告相談のお知らせ

村の平成29年分の所得申告相談受付は、平成30年２月15日から３月15日までの期間です。

申告に必要な書類や証明書、領収書等は早めに取りまとめいただき、指定された日に申告できますよう準備をお願いします。

個人番号の記載が必要となりますので、下記の書類を持参してください。

①個人番号確認書類　⇒　個人番号カード・通知カード・個人番号記載のある住民票写し等

②本 人 確 認 書 類　⇒　顔写真付きのものは１点（個人番号カード、運転免許証、パスポート等）

②は写し持参　　顔写真が付いていないものは２点　（保険証、年金手帳等）

※同じ世帯で代理の方が申告する場合は、申告者本人の個人番号確認書類と代理の方の身元確認書類。
別世帯の代理の方が申告する場合は、委任状と申告者本人の個人番号確認書類と代理の方の身元確認書類等が必要となります。

なお、詳しい内容については、１月に全戸配布でチラシを配付いたしますので、ご確認ください。

◆ 受付時間　【午前の部】午前９時から11時　【午後の部】午後１時から４時

申告月日			申告場所	該当区	該　当　地　区
月	日	曜日			
2	15	木	就業改善センター	蒜 生	蒜生全域
	16	金		中	第５組～第 13 組、その他組外
	19	月		中 川辺	中：第１組～第４組 川辺：中妻・向宿・武道・舘・赤坂団地組、その他組外
	20	火		川辺	第１組～第８組
	21	水		川辺	第９組～第 11 組、宮ノ前・共同・宿・中沖・宮ノ前ニュータウン組
	22	木		竜崎	第１組～第６組
	23	金		竜崎	第７組～第 11 組、その他組外
	26	月		岩法寺	第１組～第５組
	27	火		岩法寺	第６組～第 14 組、その他組外
	28	水		小　高	第１組～第７組
3	1	木		小　高	第８組～第 13 組
	2	金		小高(午前のみ)	第 14 組～第 17 組、その他組外
	5	月	須釜公民館	南須釜	蟹沢・荻ノ田・堂ノ内・奥平・八又・柳作組
	6	火		南須釜	狸穴・牛沼・小半弓・千五沢・滝作・古宿・久保宿・小柳作・南宿組
	7	水		南須釜	粟踏石・八木・横内・村営住宅・その他組外
	8	木		北須釜	奥撫・仁戸内・遠舘石・近舘石・三蔵
	9	金		北須釜	北中組・森殿・北入・桜窪・西部・その他組外
	12	月		吉	吉地区全域
	13	火		山小屋	山小屋地区全域・河平組
	14	水		四辻新田	四辻新田地区全域・青井沢組
	15	木		予備日	該当日にできなかった方

お問合せ先　所得税に関する申告　須賀川税務署　0248-75-2194
村県民税に関する申告　村税務課　57－4622

お誕生おめでとうございます

（12月10日まで届出分）

地区名	出生児氏名	保護者名
川　辺	仁井田 陽暖（ひおん）	潤

おくやみ申し上げます

（12月10日まで届出分）

地区名	死亡者	世帯主名
南須釜	圓谷貴榮	貴榮

寄付ありがとうございます

次の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。
（村社会福祉協議会：12月10日まで受領分）

岩法寺 佐久間　倉光 様
曹洞宗福島県　県南青年会 様

認定こども園たまかわクックの森園児の勤労感謝訪問より（11月22日）

文芸 literature

さるなし俳句会十二月句会吟詠

たそがるる色なき里の木守柿　由記
山の湯や余興あふれる忘年会　真知
孫からのソックス届く今朝の冬　今朝
山茶花や手踊りの唄口ずさむ　公
寒風や托鉢僧の草鞋穿（ば）き　美枝
裸木の揺れて河原の細石（さざれいし）　仁美
立ち喰いの皆うしろ向き冬日差す　剛

1月10日は110番の日

1　1　0
いち早く　いそがず慌てず　れい静に

１１０番に出た警察官が、事件・事故の内容に基づいて必要な事項を質問するので、慌てず落ち着いて正しく答えてください。

１１０番は、事件・事故などが発生した場合に警察へ緊急通報をするための電話です。急を要しない相談や照会などは、警察相談電話（＃９１１０）または最寄りの警察署、駐在所へ問い合わせください。

１１０番の正しい利用をお願いします。

石川警察署　☎２６-２１９１
玉川駐在所　☎５７-２０５３

広報たまかわ12月号のお詫びと訂正

広報たまかわ12月号14ページに掲載の「1月カレンダー」において、誤りがありました。正しくは次のとおりです。

ご迷惑をおかけしたことを深くお詫びし、訂正させていただきます。

■訂正箇所

【誤】1月5日（金）　資源ごみ：東部
不燃ごみ：西部

↓

【正】1月5日（金）　資源ごみ：西部
不燃ごみ：東部

寒い日は水道管に注意してください

気温が低くなってくると水道管が凍結し、水が出なくなったり、水道管が破裂したりしますので、注意が必要です。

■凍結させないために

むき出しになっている水道管や蛇口には、発砲スチロール製の保温材や毛布を巻くと効果的です。

メーターボックスの中も発砲スチロールや使い古しの毛布などを入れて保温してください。

■凍結・破裂した場合

凍結してしまったら、タオル等をかぶせ、その上からぬるま湯をゆっくりかけてください。熱湯を直接かけると破裂したりヒビ割れすることがありますので注意してください。

破裂してしまったら、メーターボックスの中にある止水栓を閉め、破裂した部分に布やテープを巻きつけて、水道工事事業者へ修理を依頼してください。

■漏水の有無を確認してください

寒くなると凍結により漏水が多くなります。水道を使用していないのに水道メーターのパイロットが回転していると漏水の恐れがあります。こまめに確認していただき、回転している場合は水道工事事業者へご相談ください。確認方法がわからない場合は地域整備課水道係までお問い合わせください。

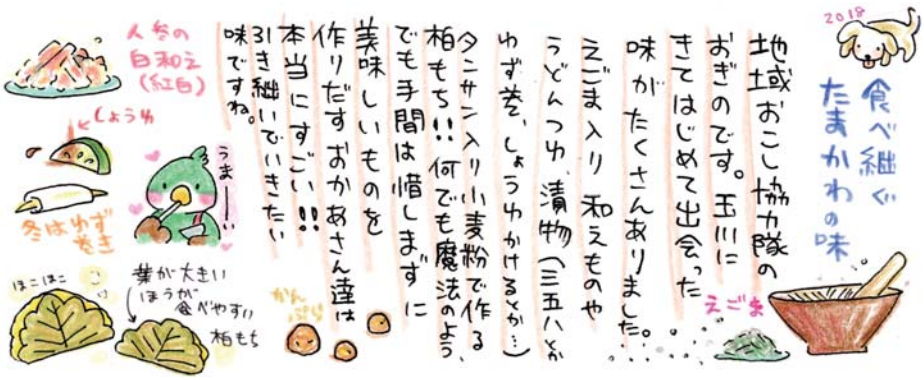
▶問い合わせ先
村地域整備課　水道係　☎５７-４６３１

2018 2 February

日	月	火	水	木	金	土
●休日当番医の診療時間は、午前8:30～午後4:30までとなっています。 ※須賀川地区の在宅当番医は、須賀川市保健センター内の休日夜間急病診療所で診察しています。 ☎0248-76-2980 須賀川市諏訪町67-1	◆玉川村虐待防止センター専用ダイヤル ☎080-5220-4623 ※毎日24時間体制で虐待にかかわる通報（連絡）や相談を受け付けています。			1 ●(元)ラージボール卓球 (9:30文体)	2 ●4歳児歯科健診 (13:45保セ) ●(元)3Bたいそう教室 (9:30文体) 燃えるゴミ	3
4 (休医)ひらた中央病院 (平田村)	5 ●体育施設定期休場日 ●クックちゃん文庫休館日	6 ●ベビー教室 (13:30保セ) ●(元)骨盤呼吸教室 (19:00文体) ●(元)ランニングサークル (18:30文体) ●(元)バドミントン (19:30文体) 燃えるゴミ	7 ●高齢者教室 ●(元)レクダンス教室 (13:30文体) 延長窓口（～19:00） 不燃ゴミ:西部 資源ゴミ:東部	8 ●(元)ラージボール卓球 (9:30文体) ●(元)トレーニング教室 (19:00文体)	9 ●(元)プール教室 (13:30矢吹温水プール) 燃えるゴミ	10 ●(元)ヨガ教室 (9:45文体) ●(元)スポーツサロン (13:00文体他)
11 建国記念の日 (休医)ひらた中央病院 (平田村)	12 振替休日 ●体育施設定期休場日 (休医)ひらた中央病院 (平田村)	13 ●いきいき教室(13:30健た) ●(元)フラダンス教室 (9:30就改) ●(元)ランニングサークル (18:30文体) ●(元)フットサル教室 (19:00体セ) ●(元)バドミントン(19:30文体) ●クックちゃん文庫休館日 燃えるゴミ	14 ●健康推進ルーム利用者講習会 (19:00健た) ●(元)きっずたいいく教室 (15:30文体) 延長窓口（～19:00） 不燃ゴミ:東部 資源ゴミ:西部	15 ●(元)ラージボール卓球 (9:30文体)	16 ●(元)3Bたいそう教室 (9:30文体) 燃えるゴミ	17
18 (休医)角田内科医院 (浅川町)	19 ●体育施設定期休場日 ●クックちゃん文庫休館日	20 ●すくすくクラブ (10:00保セ) ●(元)ランニングサークル (18:30文体) ●(元)骨盤呼吸教室 (19:00文体) ●(元)バドミントン (19:30文体) 燃えるゴミ	21 ●3～4か月児健診 (13:30公立岩瀬病院) ●(元)レクダンス教室 (13:30文体) ●(元)きっずたいいく教室 (15:30文体) 延長窓口（～19:00） 不燃ゴミ:西部 資源ゴミ:東部	22 ●健康推進ルーム利用者講習会 (10:00・13:30健た) ●(元)ラージボール卓球 (9:30文体) ●(元)トレーニング教室 (19:00文体)	23 ●1歳6か月児健診 (13:30保セ) ●3歳児健診 (13:15保セ) ●健康推進ルーム利用者講習会 (10:00・13:30健た) ●(元)プール教室 (13:30矢吹温水プール) 燃えるゴミ	24 ●(元)ヨガ教室 (9:45文体) ●(元)スポーツサロン (13:00文体他)
25 (休医)ひらた中央病院 (平田村)	26 ●いきいき教室 (11:00健た) ●体育施設定期休場日 ●クックちゃん文庫休館日 固定資産税：第4期 国民健康保険税：第8期 介護保険料：第8期 後期高齢者医療保険料：第7期	27 ●(元)フラダンス教室 (9:30就改) ●(元)ランニングサークル (18:30文体) ●(元)フットサル教室 (19:00体セ) ●(元)バドミントン (19:30文体) 燃えるゴミ	28 ●(元)きっずたいいく教室 (15:30文体) ●クックちゃん文庫館内整理日 延長窓口（～19:00） 不燃ゴミ:東部 資源ゴミ:西部		◆防災行政無線の放送内容の問い合わせ 村防災行政無線のデジタル化に伴い、防災行政無線で放送した内容が下記の電話番号からお聞きいただけます。 また、村ホームページには放送内容が文字情報として掲載されています。 村防災行政無線自動応答装置電話番号 ☎0247-57-2815	

●(休医)‥休日当番医　●(元)‥元気スポーツクラブ　●文体‥文化体育館　●クラブ‥文化体育館クラブハウス　●保セ‥保健センター
●健た‥健康の駅たまかわ　●村グ‥村民グラウンド　●就改‥就業改善センター　●村体‥村民体育館　●体セ‥体育センター

地域おこし協力隊だより



地域おこし協力隊とは！
都会に住んでいる若者が、地方に移住し、地域おこしを通し、地域の魅力を発見し、発信していく仕事です。

広報紙に掲載された写真が欲しい方は
総務課広報広聴係（57−4621）まで

TAMAKAWA MOBILE
玉川村モバイルサイト

VEGETABLE OIL INK
この広報紙は環境にやさしいインキと再生紙を使用しております。

発行／福島県石川郡玉川村大字小高字中畷9　玉川村役場　編集／総務課　☎（0247）57−4621　印刷／㈲和田印刷（毎月15日発行）